

解 説



教育・研究機関における品質工学の展開 2020

— オンライン授業における品質工学 —

Development of Quality Engineering at Academic Research Institutions 2020
— *Quality Engineering in Online Classes* —

参加者：青木昭夫（帝京大学），伊勢大成（福井工業高等専門学校），小笠原明彦（埼玉工業大学），久米原宏之（ものづくり研究機構），武重伸秀（マツダ），中原 真（高崎産業技術専門学校），榎原弘之（九州工業大学），早川幸弘（富山高等専門学校），福島祥夫（埼玉工業大学），水谷淳之介（富山高等専門学校），山本桂一郎（富山高等専門学校）（50音順）

誌上参加：矢野耕也（日本大学）

司 会：河田直樹（埼玉工業大学）

記 録：五味伸之（埼玉工業大学）

1. はじめに

2020年8月21日に埼玉工業大学を主幹として第2回学校交流会準備会が行われた。コロナ禍ということもあり、オンラインでの開催となったが、基調講演に埼玉工業大学客員教授である高原忠良氏をお招きし、学生からの発表もあるなど準備会は盛況であった。今回はその中で、後半に行われたパネルディスカッションの様子をまとめたものを示す。テーマとしてはオンラインにおける品質工学ということで、各氏からさまざまな意見が出された。

2. 学校における品質工学

— オンライン授業での品質工学 —

「学校における品質工学—オンライン授業での品質工学—」というタイトルでパネルディスカッションを行った。あまり慣れていないオンラインでのZOOMを使用したパネルディスカッションになったが、教員同士の授業の様子などを中心に活発な意見交換がなされた。

初めに小笠原より、本年度前半に埼玉工業大学に

で行われたオンラインにおける実験を伴った品質工学の講義の説明があった。

2.1 話題提供

— 埼玉工業大学のオンライン授業の状況 —

河田 多くの大学と同様に埼玉工業大学でもZOOMを使って5～8月の間オンラインで講義を行った。実習等の対面で行わなければいけない授業に関しては8月以降に集中講義という形で行っている。システムとしては、ライブキャンパスという埼玉工大の教育ネットワークシステムを利用しており、期末試験もレポートで代用など工夫がなされた。

講義によっては例年より参加率および提出率も改善し、単位を落とす学生も減った反面、学生の顔が見えないことによるレベル調整のやりにくさなどがあった。

本学のZOOMを使った授業の品質工学に関わる話題として、紙コプターのパラメータ設計を授業の題材として実施するなどの工夫があった。パネルディスカッションの口火を切る意味で、実際に授業を担当された小笠原明彦先生にその状況について発表